

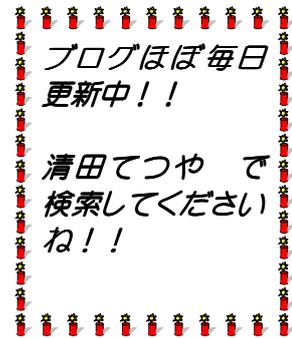


# 我 夢 哲 便 り

清田てつや 後援会報  
発行：清田てつや後援会

4月の選挙から早3ヶ月が過ぎようとしています。子供たちは夏休み前ということで毎日ワクワクしながら過ごしていることと思います。私も、皆様のおかげで、人生初めての定例議会、一般質問、ドキドキ、ワクワクしながら経験させていただきました。あの、厳しい選挙において、お一人お一人から託されました、1939票の期待と重みを生涯忘れる事なくがむしゃらに邁進していく所存でございます。勉強不足な点多々ございますが、今後も温かいご支援頂きますようよろしくお願い申し上げます。

さて、今回、選挙後初の我夢哲だよりとなりますが、主に、今議会のご報告をさせていただきます。私の主観としましては、執行部からの提案の中で、小学校3年生までの医療費を無料化するというものがございました。これは、子育て世代にとっても、これから結婚、出産を控える世代にとっても、優しい施策ではないかと思えます。我が家もそうですが、1回1回は大きなお金ではないんですが、年間通じてみると、子供の医療費結構かかってます。少しでも子育て中の世帯負担を軽減したり、経済的理由で子供の通院を制限したりすることに歯止めがかかり、子供の健康を担保できるのではないかと思います。



## 一般質問

### 1. 給食費の未納問題について

自分がPTA会長を務める鶴岡小学校をはじめ、市内の大規模校において、未納問題が深刻化しているなか、学校現場だけでの対応では限界を感じ、佐伯市がこの問題をどこまで把握しているのか、また、改善に向けてどのような取り組みをしているのかを聞きました。また、一般質問の場でこの問題を取り上げるにより、当事者自身に少しでも訴えかけられるのではないかという思いがありました。

(答弁：江藤教育次長)

平成20年度だけで2,549,826円、累計では7,337,835円の未納総額がある。保護者の公平性を欠くばかりか、児童生徒への十分な給食提供にも支障をきたすことになりかねない。この事態を改善すべく平成21年2月9日付で特定滞納世帯37世帯に対し催告書を発送し、半年以内に改善がみられない世帯に対しては、7月末までに裁判上の請求(支払い督促)に移行する。

※他の自治体では、支払い督促を早く取り入れており、その効果としては、収納率が2~5割ほど向上している。この取り組みの成果に期待するところは大きい。

### 2. 給食センターの業務委託について

昨年度、剣崎給食センターは社会福祉協議会に業務委託されましたが、それにより生じる佐伯市のメリットと、今後の委託予定と、委託先の選定について。

(答弁：江藤教育次長)

平成20年度まで17施設あった調理場を平成28年度までに8施設に統廃合する予定。業務委託のメリットは人件費、物件費ベースで24,160,000円のコスト減になった。

今後の委託予定は、平成22年度に6施設、平成23年度に2施設、平成24年度に1施設、平成25年度に1施設を民間委託する計画。なお選定方法は、公募型プロポーザル方式とし、選定委員会で審査、決定していく。

### 3. 鶴岡地区の諸問題(鶴小グラウンド改修と豊南高校の跡地利用に関して)

(答弁：江藤教育次長)

今年度北校舎改築に伴うフレハフ建設のため、約2年にわたりグラウンドが使えないので、来年度の北校舎の完成に向け、グラウンドの水はけ問題解消のための詳細調査を行う。

平成26年の合併以降の跡地利用は、土地・建物の所有者である、大分県と佐伯市が協議していく。その中で地元のニーズをしっかりと含んだうえで協議を進めていきたい

## 歴史資料館(旧池彦の土地取得)について

皆さんもご存じの通り、昨年の12月議会で否決されたものですが、取得方法の変更により、今議会には上程されませんでした。なぜかと言うと、前回懸案となっていた、建物部分を、公有財産購入費ではなく、補償費として支出するように変更したことによって、議会の議決が不要になったからです。(土地は土地開発基金による取得のため、同様に議会での議決は不要)この、執行部の手法について、議会軽視だとか、歴史資料館そのものの是非を問う声は議会内でもありました。私自身も、寿屋跡地に何ができるのかを始め、中心市街地活性化事業、大手前地区再開発事業の具体的構想が示されないまま歴史資料館だけが先行していくことに疑問を抱きました。しかし、なぜ今なのかという執行部の説明を聞くにあたり、正直、釈然とはしませんが、仕方ないのかなあと思うに至りました。その理由と過去からの経緯を以下に掲載します。

- 1.現在市が保有、寄託を受けている歴史資料は、まな美、文化会館をはじめ各施設に散在しており、市民の目にふれさせることができない状況である。
- 2.毛利家からの仮寄託を受けて、かなりの時間が経過しているにも関わらず、資料館建設が具体化されないことに対する不満が市民の間から多く聞かれる。
- 3.高速道開通により、観光客が増加し新たな**観光施設として整備する必要性が高まった**。

### 経緯(平成6年～平成20年)

平成6年に、毛利家資料の保存状況が劣悪であるとの理由から毛利家15代当主の伏見氏が千葉県に資料を持ち帰り、歴史資料館建設の必要性、緊急性が高まったため、当時の佐藤市長が候補地として山中邸を取得。毛利家との資料寄託契約も締結。(現在資料はまな美、文化会館等の倉庫に保管)しかし、平成16年山際地区の全体計画の中で、山中邸は観光交流センターとして、歴史資料館は文化会館下付近に造るとしたまちづくり交付金事業の計画を国に提出した。また、一般質問や各市民団体からの質問、要望もあり、歴史資料館を位置づけた都市再生整備計画を平成20年11月に県に申請した。

以上が今回、全員協議会においての執行部側からの説明の要旨です。

歴史資料館建設のための、池彦跡地取得は止められませんが、造る以上、費用対効果をしっかり考え、精査し、観光施設として、外からの観光客をしっかり呼べる有意義な施設造りに寄与していくことが、議員として、今後最も大切な活動になっていくと考えます。

新事務所がオープンしました！！ 住所 鶴岡町3-3-7 電話 25-1755 FAX 25-1756 です。

事務員さんがいないので、留守にすることも多いですが、お気軽にお立ち寄りください！！ !(^^)!

(株東洋サッシ工業 様)

鶴 岡 バ イ パ ス

Honda cars 佐  
伯中央 藤原  
店 様

清田てつ  
や後援会  
事務所

美容室ひ  
まわり様

マルシヨ  
ク鶴岡店  
様